

◆テーマ 介助のためのテーピング講師 九嶋 信男

神奈川支部の筋ジストロフィー患者はほとんどが在宅介護者だと聞かれた。介護をする方にとっては、毎日が不安でいっぱいであり、介護をする親は、体がつかぬやまいので、自分自身で体をこわさない様にするのが、たいへんです。

とくに腰痛に悩む方が多く、つぎに肩、ひざです。

テーピングをすることにより、おしえても痛がとれ、また予防を兼ねて介助ができる手助けになれば良いです。

◆テーマ 患者に貼れるグッズとは何か講師 大泉 武志

一日中車いすで生活している患者、やバットで毎日と過ごす患者が、体の痛みや、寝かえりか、「らく」に悩むようなテーピングの方法を勉強し、親が、子どもに貼ってあげる方法です。一人でも患者にテーピングをしてあげられる方法として自分が中心となり、患者の体の一点を重心とすることです。

貼りやすい、あまり力を入れずに、「らく」に貼ることかできます。

毎日が、楽しく過せる様子をしたいものです。

療育研修会実施状況

神奈川支部

参加数 25名

テーマ ◆介助のためのテーピング

◆患者に貼れるコツとは何か

講師 キネシオ
テーピング協会 九嶋 信男
施術師

七沢リハビリテー
ションセンター 大泉 武志
作業療法士

実施場所 相模川ビレッジ「若あゆ」ミーティング室



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

最初は、自分でテーピング"というところがわからず"にいましたか。
説明を受け、実際に貼ってみると、すごく、痛みがとれました。
介助は親が、ずっと続けなくてはならない。
子どもがとくどく大きく成長していくことで、親は年をとってゆく
体庫が増すことで、あちこちが痛くなります。
テーピング"を貼って予防ができることを知りました。
また、子どもにも貼ってあげること、動かす体庫、すし
でもつらくない様子をほすことがわかり。
とてもうれしと思いました。
何回でもこの様な講習をしてほしいと思います。

療育研修会実施状況

神奈川支部

参加数 25名

テーマ ◆介助のためのテーピング

◆患者に貼れるコツとは何か

講師 キネシオ
テーピング協会 九嶋 信男
施術師

七沢リハビリテー
ションセンター 大泉 武志
作業療法士

実施場所 相模川ビレッジ「若あゆ」ミーティング室



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....